

富山医薬大医誌 7 巻 1 号 1994 年

シンポジウム

本学における医学教育の改革

司会の言葉

小泉富美朝*, 倉知正佳**

富山医科薬科大学病理学第 2 教室*, 精神神経医学教室**

ご承知のように平成 3 年 7 月に大学設置基準が改正され、各大学が個性的な教育や研究が自由に展開できるような基準の大幅な大綱化が行われました。これに伴い、全国大学では、大学教育の点検、評価および教育カリキュラムの改革が進められ、その実践へ向けて努力しているのが現状であります。このような現状を踏まえて本学の医学教育検討委員会では、本学医学会の今年度のシンポジウムにおいて、「本学における医学教育の改革」というテーマを取り上げていただきました。

本シンポジウムでは、まず永年医学教育学会に携わっている片山喬教授には序論をお話いただき、次いでチュートリアル・システムについて本学医学

部のアンケート調査集計結果を中心に高屋憲一教授にお願いしました。また 5 年前からアーリーエクスポージャーとして 1 年生に体験学習を実施している鏡森定信教授に医薬学概論について、次いで大角誠治講師から 5, 6 年次生の臨床実習について、高田良久同窓会長から卒前・卒後の臨床教育と医学生の実行パターンについてそれぞれ 20 分ずつお話をお願いしました。

最後に永年日本の医学教育の改革に先駆的に携わってこられた順天堂大学客員教授の尾島昭次先生より、「日本における医学教育改革の動向」と題して特別講演を拝聴しました。